

「第5回海環境と生物および沿岸環境修復技術 に関するシンポジウム」のお知らせ

2005年10月

海環境シンポ実行委員会

会議名：第5回海環境と生物および沿岸環境修復技術に
 関するシンポジウム

(3rd International Symposium on Contami-
 nated Sediments)

開催地：静岡「あざれあ会館」

時期：2006年5月23~25日

主催：第5回海環境シンポジウム実行委員会

ASTM International

大会ホームページ：

<http://soildyn.oc.u-tokai.ac.jp/~iscs2006/>

開催目的

本シンポジウムは、海環境問題をテーマにしているい
 ろいろな学協会、産業界に属する研究者、実務者が一堂
 に会し、海環境の保全と修復のための情報交換を行うこ
 とを目的に開催されます。

第1回~第4回までは、研究発表と特別講演を主体と
 した内容でしたが、第5回シンポジウムは、米国規格協
 会主催の「第3回汚染堆積土に関する国際シンポジウム
 (3rd International Symposium on Contaminated Sed-
 iments)」と合同開催とし、発表はポスターセッション
 に限ります。また、ポスターの作成および討論は、英語
 を原則とします。ただし、日本人同士の討論につきまし
 てはもちろんこの限りではありません。

これまでの海環境シンポジウム開催に際しては、一般
 の方への特別講演の無料参加、研究発表者の参加料など
 につきましては、寄付等の行為により最善努力してまい
 りましたが、今回は、原則的に国際シンポジウム参加者
 としてご登録いただきますようご理解のほどお願い申し
 あげます。

国際シンポジウムへの海外からの参加者の多くは、汚
 染堆積物を専門としておりますが、赤潮や生物汚染など
 水環境一般に関して興味を抱いております。また、国際
 シンポジウム組織委員会では、あらたにポスター発表者
 を募ります。従いまして、ポスターセッションでは幅広
 い議論ができると期待しております。

今回は、国際的な集いに広げ、またポスターセッシ
 ョンにおいて詳細な討論が行えるという意味で、海環境シ
 ンポジウムにとっては新しい試みとなります。最後に、
 このシンポジウムで国際的な新しい知見が得られ、今後
 のご研究、実務に反映されんことを望む次第です。それ
 が、海環境の保全・修復への確かな一歩となると信じて
 います。

海環境と生物および沿岸環境修復技術に関するシンポジ
 ウム ポスター発表募集の御案内

つぎのテーマで論文募集いたします。ふるってご参加く
 ださい。

1. Sea water pollution and red tide
2. Environmental problems for tidal land, lagoon
 and beach
3. Algae, plankton and animals, and environment
4. Contamination of sediments and measures
5. General sea environmental problems

ポスター概要

添付の様式に「住所、氏名、連絡先」を添え、概要を
 e-mail で事務局までお送り下さい。

<http://soildyn.oc.u-tokai.ac.jp/~iscs2006/>

スケジュール

2006年2月末	概要締切り
2006年3月末	概要審査結果の通知
2006年5月23-25日	シンポジウム開催 (静岡あざれあ会館)

問合わせ先・原稿提出先

海環境シンポ実行委員会事務局

〒424-8610 静岡県静岡市清水折戸3-20-1

東海大学海洋学部海洋土木工学科内

Tel. 0543-37-0921, 0923/Fax. 0543-34-9768

e-mail: kita@scc.u-tokai.ac.jp

「第3回汚染堆積土に関する国際シンポジウム」 のお知らせ

会議名：3rd International Symposium on Contami-
 nated Sediments

(第3回汚染堆積土に関する国際シンポジウム)

主催：ASTM International

共催・後援：東海大学、海底地盤研究会、(社)地盤工学
 会、(社)農業土木学会、土壌物理学会、日本ブラ
 ンクトン学会など

会期：2006年5月23日(火)~25日(木)

会場：あざれあ(静岡市駿河区馬淵1-17-1; JR静岡駅
 より徒歩8分程度)

テーマ・関連分野：海底や湖沼底等の汚染堆積土の環境調
 査、評価、管理、保全、再生。関連分野は海洋
 学、湖沼学、堆積学、土壌化学、地盤工学、環境
 工学など

内 容：通常セッション（論文締切済）

ポスターセッション（発表募集中 詳細はシンポジウムウェブサイトをご参照下さい。優秀ポスター発表はシンポジウムで表彰の予定です）
特別講演3件（題目は仮題）

Effect of eutrophication to the sediment in Osaka Bay, Japan (Prof. T. Yanagi, Kyushu University)

Sustainability of remediated contaminated sediments (Dr. R. N. Yong, Canada)

Minamata Disease-Food chain exposure from marine products and its health effects (Prof. T. Tsuda, Okayama University)

プログラムはシンポジウムウェブサイトにて随時掲載・更新予定です。

登録方法：Bulletin No. 2 を下記お問い合わせ先までご請求いただくか、ウェブサイトより Bulletin No. 2 および登録フォームをダウンロードいただき、ご記入の上事務局にご提出下さい。

登録費

区分	2006年3月末まで	2006年4月1日以降
一般	35,000円	38,000円
学生(要証明書類)	15,000円	16,000円
バンケット	6,000円	

事前登録は4月末までです。キャンセル時の取り扱いについてはウェブサイトをご覧ください。

お問い合わせ先（事務局）：

北 勝利 組織委員会幹事長

〒424-8610 静岡市清水区折戸 3-20-1

東海大学海洋土木工学科

電話：0543-34-0411（内線2263），

FAX：0543-37-0921，

E-mail：kita@scc.u-tokai.ac.jp

シンポジウムウェブサイト：

<http://soildyn.oc.u-tokai.ac.jp/~iscs2006/>